

医療者・医療機関向け虐待対応啓発プログラム

BEAMS in 京都

2024年3月2日(土)～3日(日)

日本子ども虐待医学会(JaMSCAN)主催の、医療者および医療機関向け子ども虐待対応啓発プログラムBEAMSを京都府京都市にて開催いたします。前日の3月1日(金)には、ケースレビュー委員会主催 第19回事例検討会を開催いたします。多くのご参加をお待ちしております。

会場：京都第一赤十字病院（京都市東山区本町15-749）

対象：医療従事者・子ども虐待対応に関わる関係機関の方

日程：



R6年3月1日（金）	18：00～20：30	第19回事例検討会
R6年3月2日（土）	9：15～10：15	BEAMS Stage 1
R6年3月2日（土）	10：30～12：00	BEAMS Stage 2
R6年3月2日（土）	13：00～18：00	BEAMS Stage 3
R6年3月3日（日）	9：00～16：30	BEAMS Stage 3

参加費：

Stage 1 1,000円（税抜き） ★新専門医制度 iii小児科領域講習 認定申請中

Stage 2 2,000円（税抜き） ★新専門医制度 iii小児科領域講習 認定申請中

Stage 3 正会員 33,000円（税抜き） 非会員 38,500円（税抜き）

ケースレビュー委員会主催
第19回事例検討会 1,000円（税抜き）



◆お申込みは、ホームページから◆
<https://beams.childfirst.or.jp/event/>

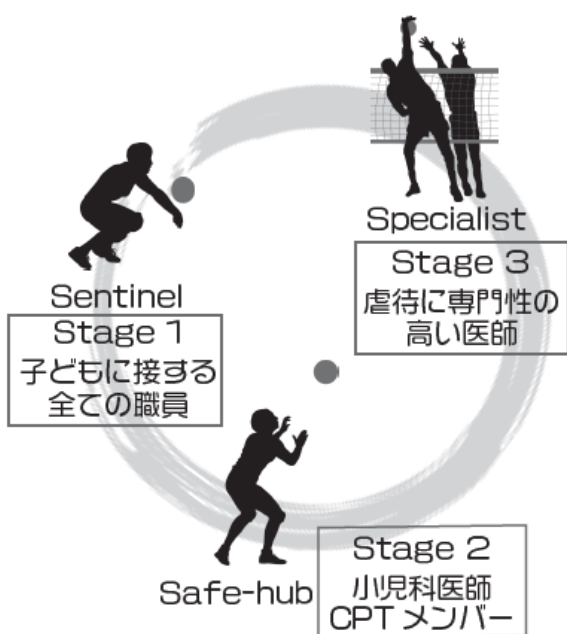
KYOTO





皆で虐待の問題に光を当て
崩れゆく家族を梁のように支え
子どもに心からの笑顔を取り戻してほしい

*beam=光の束、梁、心からの笑顔



Stage 1 :

虐待を早期に発見し通告することの意義を理解し、危機管理の視点のみならず育児支援の視点で、Sentinel（見張り番）となる。

Stage 2 :

虐待の可能性のある子ども／親との接し方の基本を学び、地域と家族を適切に繋げる（安全の架け橋：Safe-Hubとなる）こと、ならびに急性期に求められる医学的検査・カテゴリー診断ができるようになる。

Stage 3 :

専門医師として求められる対応を、ロールプレイなどを通し積極的に理解し、実践的対応能力の向上を目指す。Stage3の修了者は、地域での虐待対応の推進役となることが期待される。

Stage 1 受講者 22,339人
Stage 2 受講者 5,901人
Stage 3 受講者 230人

子ども虐待対応の
共通言語として
全国に広がっています

*2023年5月現在

2つの開催方法

招へい型：医療機関や地域（行政など）から講師派遣を依頼いただく
センター型：日本子ども虐待医学会主催で開催

開催依頼・開催情報や参考資料などはHPへ！
<https://beams.childfirst.or.jp>

